

令和5年度 長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況



令和6年6月
長野県

目 次

1 長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況	1 ページ
趣旨	2 ページ
施策の柱1に基づく取組 ～ファンの拡大 [ひろげる取組]～	3 ページ
施策の柱2に基づく取組 ～後継者の確保・育成 [つなぐ取組]～	6 ページ
施策の柱3に基づく取組 ～売上の拡大 [のぼす取組]～	8 ページ
2 県機関における伝統的工芸品の活用・取組事例	11 ページ
本庁における主な活用事例	12 ページ
地域振興局における主な取組事例	14 ページ
3 市町村・地域における主な取組事例	15 ページ
[資料1] 地域振興局における主な取組事例	17 ページ
[資料2] 市町村・地域における主な取組事例	23 ページ

1 長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況

【趣旨】

県では、長野県の美しい伝統的工艺品を未来につなぐ条例（以下「条例」という。）施行以降、第1回長野県伝統的工艺品産業振興審議会を令和5年11月に開催し、伝統的工艺品産業の振興を推進するための指針となる「長野県伝統的工艺品産業振興方針」について審議いただき、令和6年3月に策定したところです。

この方針に基づき、3本の柱を施策の基本として、それぞれの柱に紐づく政策の方向性に従って伝統的工艺品産業の振興に取り組んでまいります。また、施策の方向性や具体的な施策等は、今後、状況の変化に鑑み、柔軟に修正してまいります。

なお、本報告は、条例第15条に基づき、県が講じた伝統的工艺品産業の振興に関する施策の実施状況について、振興方針に基づく3本の柱ごとに取りまとめました。

施策の柱		施策の方向性		
柱1	ファンの拡大 (ひろげる)	認知度を上げる	友達の輪・ 知り合いづくり	柱の横串を 刺す施策 (教育関係等)
柱2	後継者の 確保・育成 (つなぐ)	後継者を確保する	後継者を育成する	
柱3	売上の拡大 (のばす)	魅力を伝え消費 行動を促す	消費者の感性に 届く新たな商品をつくる	

◇施策の柱1に基づく取組 ～ファンの拡大 [ひろげる取組]～

(条例第9条関係)

(1) 長野県伝統的工芸品リブランディング事業 [継続事業]

事業内容

[魅力発信事業]

県内初の高校生アイドルグループ「ナナフル」(※)が県内出身者&若者の視点で、伝統的工芸品の「推し隊」として工芸品の歴史や匠の技を楽しく学びながら、県内メディアと連携し伝統的工芸品の魅力を発信しました。

若年層が伝統的工芸品のファンになっていくプロセスを印象付け、「推し隊」とその取組を応援したいというファンを増やししながら、伝統的工芸品のファンづくりへ誘導しました。

※佐久長聖高校が新設したパフォーマンスアートコースに入学し結成した県内初の高校生アイドルグループ[7限目のフルール](通称ナナフル)



7限目のフルール

テレビ信州「ゆうがた Get!」放映実績

	放送日	産地(工芸品)
1回目	11月15日(水)	飯山仏壇、内山紙
2回目	12月6日(水)	長野県農民美術、軽井沢彫
3回目	1月17日(水)	木曾漆器、南木曽ろくろ細工
4回目	2月10日(土)	ナナフル体験作品紹介、松代焼・信州組子細工ジョブキッズ体験(若里文化ホールにてイベント開催)
5回目	2月14日(水)	松本家具
6回目	3月6日(水)	飯田水引

(2) 信州ハンドクラフトフェスタ出展支援[新規事業]

事業内容

[信州ハンドクラフトフェスタ 2023 へ初出展]

「長野県伝統的工芸品特別展」を開催

出展産地事業者から、「今までクラフトはなじみが薄く連携は難しいと誤解していた」、「来年もぜひ参加したい」などクラフト産業との連携に前向きな声が多くありました。



開催日	令和5年7月8日(土)、9日(日)		
場所	エムウェーブ(長野市)		
入場者数	約13,000人 (主催者発表)	出展小間数	約500小間

販売、実演体験：8産地 [木曾漆器、信州紬、飯山仏壇、飯田水引 等]
展示：10産地 [松本家具、内山紙、お六櫛、軽井沢彫 等]

(3) 民間事業者等と連携した取組

事業内容
<p>① 高島屋が会員向けのふるさと納税の返礼品に長野県伝統的工芸品を採用 ふるさと信州寄付金のお礼品を紹介する高島屋会員向けパンフレットに伝統的工芸品 を掲載。</p> <p>② ラジオ等での魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none">・SBC ラジオ番組「武田徹のつれづれ散歩道」内のコーナー「豊かな信州 郷土SHO KU」（令和5年12月2日放送）で信州組子細工とその職人を紹介。・FMながの県政ラジオ番組「Best Style!」内のコーナー「しあわせ信州ナビゲーシ ョン」（令和5年8月4日放送）で信州の伝統的工芸品を紹介。・上記のほか、ニュースなどでも職人の取組など随時紹介された。

(4) 伝統的工芸品・クラフト連携促進事業[県民参加型予算・新規事業]

事業内容
<p>伝統的工芸品産業とクラフト産業の連携・融合を促進することにより、新たなファン・消費者の拡大など伝統的工芸品産業の課題解決を図ることを目的として、事業提案者である木曾漆器工業協同組合と打合せを重ね、令和6年度事業として構築しました。</p>
<p>(1) : 木曾くらしの工芸館 [道の駅木曾ならかわ]</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none">① 伝統的工芸品（県内全産地）・クラフト作品の常設展示場設置② 伝統的工芸品職人・クラフトパーソンの交流スペース設置 
<p>(2) : 塩尻市木曾平沢地区 [漆工の街・重要伝統的建造物群保存地区]</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none">① 伝統的工芸品×クラフトのワークショップ開催② ポップアップストア等のイベント開催③ クラフトパーソン向けの漆工教室開催 

(5) 伝統的工芸品を未来につなぐフォーラムの開催

事業内容

伝統的工芸品産業の振興について気運を醸成するために、伝統的工芸品月間に合わせてフォーラムを開催しました。

① 日 時

令和5年11月9日（木） 13時30分から16時30分まで

② 会 場

ホテルメトロポリタン長野 2階 千曲

③ 内 容

○ 基調講演 「伝統的工芸品産業を次世代につなぐために」

株式会社和える 代表取締役 矢島 里佳 氏

○ 事例発表

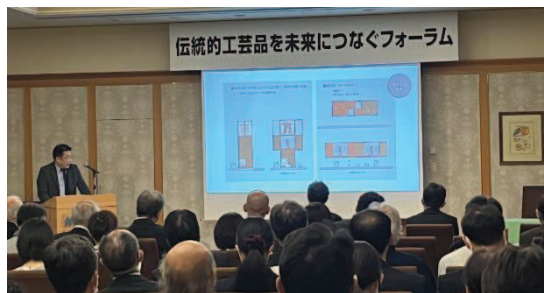
伝統的工芸品産地の取組について 他

・飯山仏壇事業協同組合 理事長 明石 洋一 氏

・戸隠中社竹細工生産組合 前組合長 井上 栄一 氏

④ 参加者数

約 100 名



(1) 技術伝承講習会[継続事業]

産地において、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技術者等を講師として、技術伝承講習会を実施しました。

事業内容	
○参加者数	68人
○開催産地	木曾漆器、内山紙、長野県農民美術、信州からまつ家具、小沼箒 信州竹細工（戸隠竹細工、須賀川竹細工）

(2) 卓越技能者知事表彰（信州の名工）（産業人材育成課）

伝統工芸士など卓越した技能を持ち、各分野で県下第一人者と目される方を「信州の名工」として表彰しました。

表彰者数	伝統的工芸品名
17名（1名）	信州組子細工

※表彰者数欄の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の内数

(3) 地域と未来をつなぐゼミ事業（産業人材育成課）

子どもたちに地域企業や産業の魅力を伝え、地域産業での就労を意識づけるため、県内の中学校等に企業経営者や信州ものづくりマイスター、伝統工芸士等を派遣し、ものづくり体験講座等を実施しました。

実施校数	実施市町村名	伝統的工芸品名
20校 (11校)	長野市、松本市、上田市、 諏訪市、塩尻市、須坂市、 千曲市	木曾漆器、信州紬、飯山仏壇（金具製 作）、信州手描友禅、信州からまつ家具

※実施校数の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の講座実施校の内数

※実施市町村名は伝統的工芸品関係の講座を実施した学校の所在市町村

(4) 認定職業訓練助成事業（産業人材育成課）

民間における職業訓練の取組を促進し、職業能力の開発や資質の向上を図るため、法令で定める基準に適合する職業訓練を県が認定するとともに、そのうち中小企業等が実施する一部の職業訓練に対して運営費等の助成を行いました。

認定校数	認定校名
48校（1校）	塩尻市木曾高等漆芸学院

※認定校数欄の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の認定校の内数

(5) 新規就業者定着促進助成金 [継続事業]



技術の伝承と後継者の育成を図るために、その製造に携わる新規就業者を伝統的工芸品産業の後継者として育成する費用を助成しました。

- ・助成金額：新規就業者4万円/月 事業者4万円/月
- ・助成期間：6か月

助成件数	助成対象
3者	就業から5年以内であり、かつ受入れ事業者の代表者の3親等以上の者※ ※3親等以内の者でも就業から1年以内の者は対象とするよう要件を緩和

(6) 後継者産地インターンシップ事業 [継続事業]

伝統的工芸品産地での就業体験や地域での暮らしを通して、産地事業者との出会いを創出する場を提供しました。

事業内容			
1泊2日の産地インターンシップを開催しました。			
・1回目/就業体験で産地と工房を知る			
・2回目/産地事業者とのコラボによる新商品開発			
就業体験	11月3日、4日	軽井沢彫	参加者数 5人
商品開発※	2月22日、23日	飯山仏壇	参加者数 5人
※上記の他に、参加者が提案した新商品企画のブラッシュアップを目的として、3月15日に飯山仏壇事業協同組合とのオンライン座談会を開催しました。 (参加者数：3人)			
			

◇施策の柱3に基づく取組

～売上の拡大 [のばす取組]～

(条例第9条、第11条関係)

(1) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会[継続事業]

主催：(一財) 伝統的工芸品産業振興協会 ほか

場 所	コンベックス岡山 (岡山県)
期 間	令和5年11月2日(木)～5日(日) [4日間]
出展産地	(県内産地からの出展なし)
来場者数	約173,000人

(2) 関東ブロック伝統的工芸品展[継続事業]

主催：(一社) 関東ブロック伝産・文化協議会

場 所	横浜高島屋 (神奈川県)
開 催 日	令和5年12月26日(火)～31日(日) [6日間]
出展産地	(県内産地からの出展なし)
来場者数	約6,400人

(3) 長野県伝統的工芸品展(新作展 同時開催)[継続事業]

主催：長野県、長野県伝統工芸品産業振興協議会、長野県中小企業団体中央会

場 所	井上百貨店 (松本市)
開 催 日	令和6年1月17日(水)～23日(火) [7日間]
出展産地	23産地
来場者数	約1,700人

(4) デザサポながのによるPR支援[継続事業]

地域資源製品開発支援センター(デザサポながの)(県工業技術総合センター環境・情報技術部門内[松本市])において、伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金を活用した事業について、補助対象事業者に事業内容や取組成果を取材し、事例集を作成しました。

(伝統的工芸品補助金活用事例集作成)



(5) **長野県中小企業団体中央会に支援員を配置し産地の伴走支援[継続事業]**

産地の課題・ニーズに応じたきめ細かい相談・助言や取組を支援しました。

○支援員 4名体制

(6) **商談会等による販路開拓・販売促進(営業局)**

商談会の開催や伝統的工芸品へのニーズを有するバイヤーとのマッチング支援により、新たな受注に結び付くよう支援しました。

事業内容		
① 伝統的工芸品へのニーズを有するバイヤーとのWEB商談会の開催		
バイヤー	実施時期	参加事業者数
株式会社ザ・キャピトルホテル東急	令和5年6月26～29日	3者 (木曾漆器、軽井沢彫、信州組子細工)
日本航空株式会社	令和5年7月25～26日	1者 (信州組子細工)
株式会社イースト	令和5年9月7～8日、11日	1者 (信州組子細工)
② 大手セレクトショップ「ビームス ジャパン」バイヤーによる産地訪問の実施		
実施時期	令和5年5月29～30日	
訪問事業者数	2者(信州紬、内山紙) ※産地訪問を経て採用された商品は「ビームスジャパン 善光寺店」においてストア限定アイテムとして販売	
③ フランス・パリ「『伝統と先端と』～日本の地方の底力～」への出展支援		
主催：(一財)自治体国際化協会 パリ事務所		
実施時期等	令和5年10月18日～22日(会場：ディジョン国際美食ワイン館) 令和5年11月14日～25日(会場：パリ日本文化会館)	
参加事業者数	3者(飯山仏壇、軽井沢彫、信州組子細工)	

(7) **地域内循環支援事業(伝統的工芸品活用事業、新商品開発・新ビジネス創出事業)[新規事業]**

伝統的工芸品産業以外の企業(観光事業者、製造業、建設業等)がイメージアップ戦略、インバウンド戦略等に伝統的工芸品を活用し、その魅力発信に対する取組を支援しました。

	I型 伝統的工芸品活用事業	II型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業
対象事業	伝統的工芸品を購入し、その魅力の発信や認知度向上に資する取組	伝統的工芸品事業者と異なる業種の企業等が連携して行う新規性・拡張性の高い取組
補助対象者	県内企業等 (宿泊事業者・飲食店等)	取組を行うグループ
補助率	2分の1以内(上限10万円)	2分の1以内(上限100万円)

事業内容

【Ⅰ型 伝統的工芸品活用事業】 実施件数 8 件

事業者名（所在地）	主な取組
（資）富士之湯 （松本市）	木曽漆器のデザートボールや小鉢を活用して料理を提供
溪流荘しおり絵 （松本市）	木曽漆器の行燈を食事処で利用 木曽漆器のグラスを用いて地ビールを提供
（株）奈良井まちやど （塩尻市）	ホテル「BYAKU Narai」で、木曽漆器の技術を活用した皮漆製の名刺入れを全社員が使用
（名）金宇旅館 （松本市）	木曽漆器の食器を活用し料理を提供 ギャラリースペースにも木曽漆器を展示
GO-SHIKI （松本市）	木曽漆器のグラスや器を使って料理を提供
みなとや旅館 （下諏訪町）	木曽漆器の茶器や箸置き、湯飲み等を活用
齋藤木材工業（株） （長和町）	[WOOD コレクション 2024] にて、信州からまつ家具を用いて長野県産カラマツの魅力を発信
（株）花屋ホテル （上田市）	松代焼の花瓶を館内で使用

【Ⅱ型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業】 実施件数 3 件

事業者名（所在地）	主な取組
マクセルイズミ（株） （松本市）	曲物を外観部分とした USB 式毛玉取り器を設計・施策 （連携先：曲物）
YANOBI （松本市）	「木曽漆器」の吸い物椀とテーブルをプロダクトデザイン （連携先：木曽漆器）

※上記の他、1 事業について、補助事業者の希望により現段階で非公表。

2 県機関における伝統的工芸品の活用・取組事例

本庁における主な活用事例

【区分】

- ①贈答品として活用している事例
- ②県行事等で活用している事例
- ③その他の活用事例

工芸品名	区分	活用	備考
木曾漆器	①	河北省人民政府へ 引き出し付きオルゴールを贈呈	企画振興部
	①	フィリピン共和国総領事館ほかへ ガラス食器を贈呈	企画振興部
	①	江原道へ ボールペンを贈呈	企画振興部
	①	国際チャーター誘致活動（副知事による台湾トップセールス） ぐいのみを贈呈	企画振興部
	②	知事表彰の記念品 フォトスタンドを贈呈	総務部
	①	イクレイ世界事務局長ほかへ お盆とスプーンを贈呈	環境部
	③	県組織における木曾漆器の名札の購入・着用を推進	産業労働部
松本家具	③	ラッシュチェアを、県立長野図書館の信州・学び創造ラボに配置	教育委員会
内山紙	②	G7 長野県軽井沢外相会合 贈呈品に同封したメッセージカードに内山紙を使用	企画振興部
	②	知事表彰 賞状用紙に使用	総務部
長野県農民美術	①	北京市人民政府ほかへ 鳩の砂糖壺を贈呈	企画振興部
軽井沢彫	①	江原道ほかへ 六角ペン立てを贈呈	企画振興部
松代焼	①	中国大使館へ ぐい呑み・徳利セットを贈呈	企画振興部
	③	県立歴史館のイベントにおいて、松代焼職人のトークセッションや焼き物体験を実施	県民文化部

工芸品名	区分	活用	備考
飯田水引	③	G 7 軽井沢外相大臣会合 国際メディアセンター 水引細工の制作体験ブースを設置	企画振興部
	①	江原道ほかへ 飯田水引細工（基礎結び額）を贈呈	企画振興部
	①	北京市人民政府ほかへ 一本松若葉、鳳凰、御所車、松竹梅プラチナ金を贈呈	企画振興部
	①	外務省事業により長野県を訪問した各国駐日外交団 （7か国）へ 飯田水引細工（基礎結び額）を贈呈	企画振興部
	③	県立高校の一部で、水引のコサージュを卒業式や行事 で使用	教育委員会
信州組子 細工	①	G 7 軽井沢外相大臣会合 長野県から組子細工の時計を贈呈	企画振興部
	③	G 7 軽井沢外相大臣会合 国際メディアセンター 組子細工の制作体験ブースを設置	企画振興部

地域振興局における主な取組事例

地域振興局	工芸品名	取組み概要	後段資料 No
佐久	軽井沢彫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐久合同庁舎内に特設ブースを設置し、軽井沢彫を P R ・ 県新規採用職員の研修の一環として、「軽井沢彫」の産地訪問を実施 	①
上田	信州紬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田地域産業展 2023、上田城千本桜まつりにおいて P R ・ 上田紬を使用した缶バッジのストラップやマグネットを製作、上田地域産業展や銀座 NAGANO でのイベント等の際に、来訪者にノベルティとして配布 ・ 県ブログに記事を掲載 ・ 県職員が着用するネームホルダーを作成、職員に販売 	② ③
	長野県手作り打上花火	上田地域産業展 2023、上田城千本桜まつりにおいて P R	②
	長野県農民美術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田地域産業展 2023、上田城千本桜まつりにおいて P R ・ 県ブログに記事を掲載 	② ④
松本	木曾漆器	<ul style="list-style-type: none"> ・ R K Bカラフルフェス 2023（福岡県）でブースを設け P R、ノベルティとして漆塗の箸を配布 ・ 県ブログに記事を掲載 	⑤ ⑥
	松本家具	R K Bカラフルフェス 2023（福岡県）でブースを設け P R	⑤
	曲物		⑤
長野	松代焼	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸倉上山田温泉（千曲市）のホテル・旅館関係者を対象に松代焼の作陶体験会を開催 ・ 松代焼や体験工房を紹介するパンフレットを作成し、温泉施設等へ配布 	⑦

3 市町村・地域における主な取組事例

地域	工芸品名	実施主体	取組み概要	後段資料 No
上田	信州紬	上田市	上田ワイン紬のプロモーション	⑧
	長野県手作り打上花火	東御市 (教育委員会)	市内の中学校において、花火製造に関する講演、打上花火レプリカの製作体験	⑨
諏訪	信州鋸	茅野市	信州鋸をHPやYouTubeなどでPR	⑩
南信州	飯田水引	飯田市	産官学連携で、車いす水引スポークアクセサリ「Me's (ミーズ)」を開発	⑪
		いいらぼ	SNSでの発信、水引マップの作成、新商品開発、ワークショップ開催によりプロモーション	⑪
木曽	南木曽ろくろ細工	南木曽ろくろ 工芸協同組合	地域の学校で南木曽ろくろ細工の学習指導、体験学習を実施	⑫
	お六櫛	木祖村 お六櫛組合	地域の中学校でお六櫛制作を指導	⑬
松本	木曽漆器	木曽漆器 青年部	地域の小中学校と連携し、漆器に関する学習や、漆の植樹	⑭
北信	栄村つぐら	栄村つぐら 振興会	産地で後継者育成の講習会を開催	⑮
	信州竹細工	須賀川竹細工 振興会	計4市町で竹細工教室を開催	⑯
		山ノ内町	町民を対象に竹細工の製作体験を実施	⑯
	飯山仏壇	飯山仏壇事業 協同組合	イベントにおいて飯山仏壇の体験を実施	⑰
	内山紙	内山紙 協同組合	地域の小学校6年生を対象とした、卒業証書作成のための紙漉き体験を実施	⑱
		木島平小学校		⑱
小沼箒	飯山市立 常盤小学校/ 小沼ほうき 振興会	地元小学生が小沼箒のオリジナルCMを制作しPR	⑲	

[資料 1]
地域振興局における主な取組事例

■取組内容

軽井沢彫の伝統を守る『軽井沢彫家具組合』協力のもと、佐久合同庁舎内に特設ブースを設置し、軽井沢彫の歴史や彫刻師の後継者採用を目的とするインターシップ事業のPRを実施

また、長野県新規採用職員が勤務する地域の特徴等を学ぶ研修の一環として、佐久地域の伝統的工芸品である「軽井沢彫」を制作する店舗及び作業場への企業訪問を実施

■実施主体（所属）

佐久地域振興局
（商工観光課・総務管理課）



【企業訪問で説明を受ける県職員】

■実績・成果等

研修会参加者10名（県新規職員等）

信州紬／長野県農民美術／ 長野県手作り打上花火

■取組内容

上田地域産業展2023において、ブース出展、パネル展示、製作体験を実施

また、信州紬（上田紬）を使用した缶バッジやマグネット等を作成し、ノベルティとして来場者に配布

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

ブース来場者数 約500人



■取組内容

上田城千本桜まつりにおいて、ブースでの作品やパネル展示、パンフレット等の配布を実施

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）



■実績・成果等

上田城千本桜まつり来場者数 10.2万人（9日間累計）

国内外の来場者多数

信州紬

■取組内容

上田紬をPRするため、職員がアイデアを出し合い、手作りにより、上田紬を使用した缶バッジやマグネット等を製作

上田地域産業展や銀座NAGANOにおけるイベント等の際に、来訪者にノベルティとして配布した他、缶バッジづくり体験も実施

また、会議等の出席者や海外からの来訪者にも配布

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

配布数 約1,000個



■取組内容

長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」により、上田紬ワークショップ（ストールづくり）を紹介

また、ワークショップを実施している上田紬生産者のHPにも誘導し、参加者の増加や製品の購入、上田紬の認知度向上に貢献

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）



■実績・成果等

アクセス数 354件（R5.9.22～R6.5.17累計）

■取組内容

上田紬工房（小岩井紬工房）の協力のもと、行政職員が着用するネームホルダーを作成

上田地域振興局商工観光課が窓口となり、上田合同庁舎・県庁等、県関係機関に勤務する職員に斡旋販売

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

販売数 22個



■取組内容

長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」に、「実践的こっば人形講座」参加レポートを掲載

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

アクセス数 155件（R6. 3. 28～R6. 5. 17累計）



■取組内容

信州まつもと空港地元利用促進協議会が参加する「RKBカラフルフェス2023（福岡県）」にブースを設け、木曾漆器をはじめとした伝統的工芸品の展示、パンフレットの配布等により情報発信を実施

また、長野県の伝統的工芸品等に関するアンケートのノベルティとして、「木曾檜摺漆塗り箸」を配布

■実施主体（所属）

松本地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

イベント来場者 約5万人

パンフレット 配布数 300部

木曾檜摺漆塗り箸 配布数 129膳



<p>松本家具 (松本市)</p> <p>信州松本は、江戸時代から家具の産地として知られてきました。明治時代、洋風家具の需要が増え、松本家具は洋風家具の産地として知られるようになりました。松本家具は、伝統的な工芸技術と洋風デザインを融合させた、美しい家具を造ります。松本家具は、信州松本の伝統的な工芸技術と洋風デザインを融合させた、美しい家具を造ります。</p>	<p>松本でまり (松本市)</p> <p>松本でまりは、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。松本でまりは、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。松本でまりは、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。</p>	<p>天蚕 (松本市)</p> <p>天蚕は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。天蚕は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。天蚕は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。</p>	<p>木曾漆器 (木曾町)</p> <p>木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。</p>
<p>木曾漆器 (木曾町)</p> <p>木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。</p>	<p>曲物 (松本市)</p> <p>曲物は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。曲物は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。曲物は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。</p>	<p>松本紬 (松本市)</p> <p>松本紬は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。松本紬は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。松本紬は、信州松本の伝統的な工芸技術で作られています。</p>	<p>木曾漆器 (木曾町)</p> <p>木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。木曾漆器は、信州木曾の伝統的な工芸技術で作られています。</p>

「信州松本の伝統工芸品」紹介パンフレット

実器展示の様子

木曾漆器

松本地域

⑥

■取組内容

長野県魅力発信ブログ「来て！観て！松本『彩』発見」で「木曾漆器」の中で新しいものづくりに取り組んでいる「未空うるし工芸」を紹介

従来の漆器とは異なる製品に漆塗りの伝統技法を用いて付加価値を加えた革製品、バイク用アクセサリ、エレキギターなどを紹介し、幅広い世代に魅力を発信

■実施主体（所属）

松本地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

アクセス数 222件（R5. 10. 18～R6. 5. 31累計）



松代焼

長野地域

⑦

■取組内容

宿泊施設を通じて周知促進を図るため、千曲市の戸倉上山田温泉のホテル・旅館関係者を対象に松代焼の作陶体験会を開催

また、松代焼や体験工房を紹介するパンフレットを作成し、地元温泉協会の協力のもと、温泉施設等へ配架

■実施主体（所属）

長野地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

体験会参加者 14名

パンフレット配架施設数 28施設

※ 松代焼工房及び宿泊施設の相互でパンフレットを配架

信濃毎日新聞や地元紙からの取材



[資料 2]
市町村・地域における主な取組事例

■取組内容

上田市ブランディング支援事業として、上田ワイン紬のプロモーション活動を実施

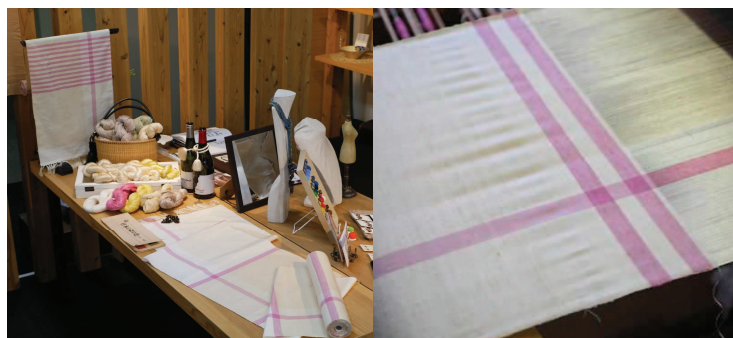
織染商いよこはまつじや信州店協力のもと、ワインの生産過程で出る絞りカスや剪定枝を染料として紬を染め、仕立てた着物「上田ワイン紬」の試作品がお披露目された

■実施主体（所属）

上田市（商工課）

■実績・成果等

展示会の開催 2回



長野県手作り打上花火

■取組内容

長野県花火組合の協力のもと、東御市内の中学校において、花火製造に関する講演、打上花火レプリカの製作体験を実施

■実施主体（所属）

東御市（教育委員会）

■実績・成果等

製作体験参加人数 9人

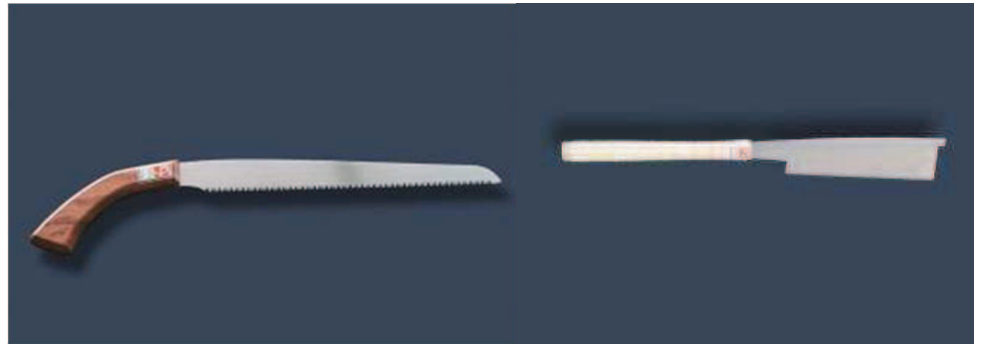


■取組内容

現在は、職人も限られ、希少な逸品となっている信州鋸について、公式ホームページでの周知、茅野市ビーナネットでのYouTube配信などでPR

■実施主体（所属）

茅野市（商工課）



■取組内容

学校法人津田塾大学、JAPANブランド飯田水引プロジェクト、(有)関島水引店との産官学連携で、車いす水引スポークアクセサリ「Me's (ミーズ)」を開発

窓口として、エス・バード内売店と東京都小平市の津田塾大学小平キャンパス内生協で常設販売するとともに、ECサイトでも取扱い

■実施主体（所属）

飯田市（企画部広報ブランド推進課）

■実績・成果等

出荷数 大100ケース、小100ケース



■取組内容

SNSでの水引の魅力発信や水引マップの作製、水引製造者の協力のもと水引商品の開発

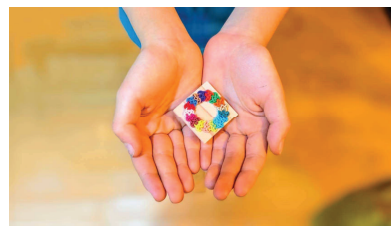
飯田市内外でのワークショップを中心としたイベントの開催など水引を軸に地域・学生と協力し幅広く活動

■実施主体（所属）

いいらぼ（飯田下伊那の学生地域団体）

■実績・成果等

ワークショップ参加者295名



■取組内容

- ・南木曽小学校3年生と5年生を対象に年1回体験学習を実施
- ・蘇南高校の美術の授業で「造形」を選択している生徒に南木曽ろくろ細工の学習指導
- ・上松技術専門校の授業で、南木曽ろくろ細工の学習指導

■実施主体（所属）

南木曽ろくろ工芸協同組合

■実績・成果等

指導（講師）南木曽小学校体験：年1回
蘇南高校授業：10～20時間
上松技専指導：1ヵ月
受講者（参加者）合計90名



■取組内容

木祖中学校の総合学習の時間でお六櫛制作を指導。文化祭にて作品展示と実演を実施

■実施主体（所属）

木祖村お六櫛組合

■実績・成果等

参加者数 13名



■取組内容 「育てる漆器プロジェクト」

檜川小中学校と連携し、以下2つの事業を実施

①「漆器を育てる」取組

ふるさと漆器学習の時間を使い、職人と一緒に生徒が給食で使うトレーに自分で漆を塗り、給食で毎日使用

②「ウルシを育てる」取組

学校敷地内でウルシの苗木植樹及び生育管理を実施し、将来的に自分たちが塗る漆を採取。

■実施主体（所属）

木曽漆器青年部 （※県地域発元気づくり支援金を活用）

■実績・成果等

漆器を育てる取り組み参加者数 84名

塩尻市立檜川小中学校1年生から9年生
そのうち4年生は新規トレーの漆塗りを実施
5～9年生は自分の使用中レー修理を実施



■取組内容

職人の高齢化、担い手不足の課題への取組みとして、後継者育成の講習会が、つぐら作りが最盛期となる1月から3月にかかり3回実施。つぐらや手仕事に興味がある人を広く募り、材料の藁をすぐって編み込めるよう、加工する工程から実際の編み込みまでを体験するコースとなった。

■実施主体（所属）

栄村つぐら振興会

■実績・成果等

参加者 受講者 7人（前年度から継続者 3人）

講師 8人（振興会会員）



信州竹細工

■取組内容

山ノ内町、中野市、飯山市、松本市などで竹細工教室を開催。一つの「かご」を作るのにどれだけの時間が掛かっているかを参加者に体験してもらうことで、竹細工の価値をPRする場とされた。

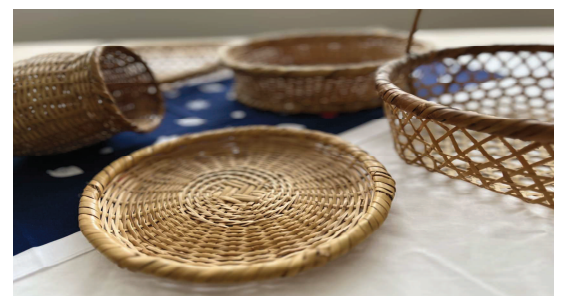
■実施主体（所属）

須賀川竹細工振興会

■実績・成果等

竹細工教室・体験教室を年4回実施

※教室をきっかけに作り手が増えて、生産が安定し、展示販売イベントに6回参加できました。



信州竹細工

北信地域

⑩

■取組内容

須賀川竹細工振興会の協力のもと、町民を対象とした志賀高原ユネスコエコパークセミナーの一環として、竹細工の製作体験を開催

竹細工の歴史や伝統技術の学びを通じて、原材料のネマガリダケを育む自然環境の保全への意識付けと、自然の恵みを生活道具として利用してきた地元文化の体験の場になった

■実施主体（所属）

山ノ内町（観光商工課 現：産業振興課）

■実績・成果等

町民10名参加



飯山仏壇

北信地域

⑪

■取組内容

第3回飯山仏壇体験フェスタにおいて、伝統工芸士の指導のもと行った彫金、彫刻、蒔絵、金箔押しの無料体験を開催し、飯山仏壇の巧みさ、奥深さ等を幅広い消費者にPR

■実施主体（所属）

飯山仏壇事業協同組合

■実績・成果等

伝統工芸無料体験参加者 174名



■取組内容

近隣小学校の6年生が手漉き体験学習を通して卒業証書を自作
 地元にも伝わる文化を長く後世に継承することを目的に、飯山市内の
 小学校、野沢温泉小学校、栄小学校の6年生が自ら紙を漉いて卒業証
 書を作る機会が提供されている

■実施主体（所属）

内山紙協同組合

■実績・成果等

令和5年度卒業生
 （飯山市、野沢温泉村、栄村）131名



■取組内容

「内山手すき和紙体験の家」上埜氏の協力のもと、木島平小学校6
 学年の児童が和紙で自分の卒業証書を作成した

木島平村が助成を行い小学校が主体となり、児童らが和紙の原料と
 なる楮の収穫、皮むき等の加工も行い、和紙を制作

本村に住む子供たちが、地域の伝統工芸品である内山紙の学習及び
 制作を行うことで、木島平村の歴史学習や郷土愛の熟成に寄与するこ
 とができた

■実施主体（所属）

木島平小学校

■実績・成果等

令和5年度卒業生 37枚作成



■取組内容

地元小学生が構成、撮影、編集まで全て行ったCMを制作し、家庭の様々な場面で活躍する小沼箒の魅力を発信

また、地元で行われているほうき作り講習会において、会員同士で意見を出し合い使いやすさを追求するとともに、SNSを活用した情報発信も行い新規会員を増やしている

■実施主体（所属）

飯山市立常盤小学校

小沼ほうき振興会

■実績・成果等

「第23回abn・八十二ふるさとCM大賞NAGANO」

にて特別賞（ユーモア賞）を受賞

令和5年度新規入会数 4名

